

「秋田大学学生海外派遣支援事業」帰国報告書

記入日：2014年1月25日

所属：教育文化学部 国際言語文化課程 国際コミュニケーション選修3年次

氏名：菅原 真帆

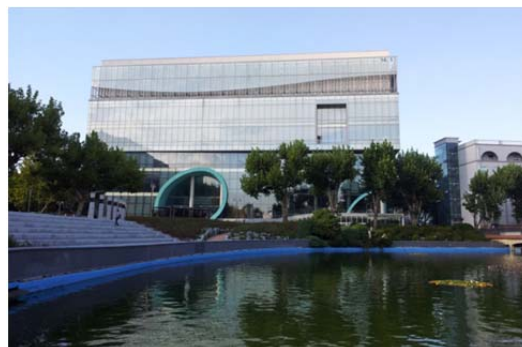
派遣先大学名(国)：圓光大学校(大韓民国)

在籍身分：交換留学生

派遣期間：2013年2月～2013年12月

渡航年月日：2013年2月25日

帰国年月日：2013年12月23日



○派遣先大学における授業などの履修状況

圓光大学校の図書館

YEAR/TERM	TITLE OF COURSE	CREDITS	HOURS PER WEEK
2013/1	Korea Reading	6	5
2013/1	Korea Conversation	6	5
2013/1	Korea Grammar & Writing	6	5
2013/1	Korea Traditional Culture Academy	2	2
2013/2	Korea Reading	6	5
2013/2	Korea Conversation	6	5
2013/2	Korea Grammar & Writing	6	5

1 学期：中上級

2 学期：高級2

○研究・学習概要及び今後の勉学計画

圓光大学校では、語学院で韓国語の授業を受けます。テストによって実力別にクラスが振り分けられ、15人程の少人数で行われます。クラスは初級から高級まで5つあります。私は中上級の授業からスタートしましたが、日本での授業よりもレベルが高く、苦劳しました。授業では意見を求められることが多いのですが、最初は思うように伝えることができず、もどかしかったです。しかし、先生が全員理解するまで丁寧に説明してくださったので、1学期が終わるころにはだいたい自分が言いたいことは言えるようになりました。夏休み中も授業を取り、一生懸命勉強しました。その甲斐もあり、韓国語能力試験で最上級の6級に合格することができました。

今後も韓国語を勉強し続け、韓国語を活かした仕事に就きたいと考えています。

○生活面について

交換留学生は大学内の寮に住みます。2人部屋でルームメイトは留学生です。部屋にはベッドと机があり、シャワーやトイレは共用です。シャワー室やトイレの掃除が休日に行われないので、日曜日や連休の最終日はとても汚かったです。私は中国人と一緒に部屋でしたが、最初は文化や生活リズムの違いがあり、ストレスが多かったです。しかし、一緒に遊びに行ったり、夜中までいろいろな話をしたり楽しかったこともたくさんありました。特に私が体調を崩した時には薬を持ってきて、看病してくれてルームメイトが居て良かったと感じました。ご飯は学食で食べられますが、あまりおいしくなかったのもので、友だちと外食することが多かったです。

韓国は交通費が安いので旅行にたくさん行きました。ソウルまでバスで3時間程かかりますが、料金は約1000円なので毎週のようにソウルに出かけることもありました。また、大学で済州島旅行を計画してくれて、留学生40人程で2泊3日の済州島旅行へ行きました。



済州島への留学生の旅行

○その他留学全般にわたる感想

留学を通してたくさんを経験しました。友だちもいないし、言葉も通じない環境で初めは辛かったですが、友だちができるにつれて「日本に帰りたくない」という気持ちが大きくなっていきました。留学生で野球チームを作ったり、友だちと旅行に行ったりかけがえのない思い出がたくさんできました。

益山はソウルとは違い日本語が全く通じません。しかし、その環境が韓国語の上達に繋がったと思います。また、語学院では留学生だけで授業を受けるので韓国人と接するのが難しいので、韓国人と友達になるために交流会に参加したり、日本語教育学科の行事に参加したりしました。

この留学で語学力が向上しただけではなく、内面的にも成長できました。留学生活を支えてくださったすべての方に感謝の気持ちでいっぱいです。留学で学んだことをこれからの人生に活かしていきたいです。留学を支援してくださった秋田大学、圓光大学校のみなさんありがとうございました。



日本語教育学科のMT